

開催案内

マンスリーセミナー

411 回	8/22 (火)	近赤外分光計測の過去・現在・未来	名古屋大学大学院 生命農学研究科 生物圏資源学専攻 教授 土川 覚 氏
(内容)近赤外分光法は、波長800-2500nmの電磁波を物質に照射して、その吸収・反射量から化学成分値等を非破壊で推定する手法である。本講演では、同法の歴史、原理、農業・食品産業・製菓工業・医療等における利活用の事例(果実の糖度、木材の含有水分、食品中の異物検出などなど)、さらには「小型化」や「見える化」を目指した最新の装置開発について紹介する。			
412 回	9/19 (火)	光学迷彩 歴史の裏の物語	東京工業大学 科学技術創成研究院 未来産業技術研究所 助教 雨宮 智宏 氏
(内容)透明人間になってみたい。誰しも一度は考えたことがあるはずだ。 その、長らく実現されることのなかった夢の技術に、今、手が届こうとしている……。 本講演では、透明マントを探し求めてきた歴史上の人々の活躍・葛藤を通じて、光学迷彩の科学的な背景に迫る。			
413 回	10/17 (火)	診断・治療における内視鏡技術の現状と将来	オリンパス株式会社 医療要素開発1部 開発1グループ 課長 五十嵐 誠 氏
(内容)昨今、癌の早期発見、及び、低侵襲治療において、内視鏡の果たす役割は年々大きくなっている。しかし、従来の内視鏡では微小病変の発見や病変部の良悪性鑑別等の点で必ずしも十分とは言えない。また、内視鏡を用いた治療においては術中出血などの合併症が課題である。そこで弊社は早期診断、及び、低侵襲治療の実現をミッションステートメントに掲げ、従来の内視鏡が抱える各種課題を改善するための様々な研究開発に取り組んできた。今回、弊社が提供する内視鏡イメージング技術や治療技術等が臨床現場でどのように活用されているかを主眼に概説する。			

最新情報は光産業技術振興協会のマンスリーセミナーのページをご覧下さい。

会 場：光産業技術振興協会（有楽町線 江戸川橋駅 3番出口）
東京都文京区関口1-20-10 住友江戸川橋駅前ビル7階
時 間：午後3時30分～5時30分
定 員：60名（申込先着順）
<http://www.oitda.or.jp/main/monthly-j.html>

参 加 料：協会賛助会員：1,500円（1回につき・消費税込）
一般参加：3,000円（1回につき・消費税込）
申込先：光産業技術振興協会 開発部 間瀬
TEL：(03)5225-6431 FAX：(03)5225-6435
E-mail：mly@oitda.or.jp